

## 製品名: ADRA1B ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe03950

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:57 kDa;Observed MW: 57 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	ADRA1B
別名	ADRA1B; Alpha-1B adrenergic receptor; Alpha-1B adrenoreceptor; Alpha-1B adrenoceptor
遺伝子 ID	147
SwissProt ID	P35368
免疫原	ヒト $\alpha$ 1b アドレナリン受容体の合成ペプチド

### 背景

$\alpha$ 1 アドレナリン受容体 ( $\alpha$ 1AR) は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。これらの受容体は、細胞分裂促

進反応を活性化し、多くの細胞の成長と増殖を制御します。α1ARには、α1A、α1B、α1Dの3つのサブタイプがあり、いずれもGタンパク質のGq/11ファミリーを介してシグナル伝達を行い、サブタイプによって活性化パターンが異なります。この遺伝子は、NIH 3T3線維芽細胞などの細胞株に導入すると腫瘍性形質転換を誘導するα1Bアドレナリン受容体をコードしています。したがって、この正常な細胞遺伝子はプロトオンコゲンとして同定されています。この遺伝子は、2つのエクソンと、コード領域を分断する少なくとも20 kbの単一の大きなイントロンで構成されています。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ

ADRA1B抗体を使用したHeLa、PC-3溶解物中のADRA1Bのウエスタンプロット分析。

